２０２１年１１月例会報告

前回８月例会より３ヶ月ぶりの例会となりました。
１１月と言えば、毎年森田理事長総長自ら先生方、校友会本部の方々を率いて上海にお越しになり、上海の大学と提携し開催される弁論大会に出席され、その次の日には校友会上海支部総会をガーデンホテルで行うのがコロナ前までの恒例行事でした。しかし昨年に引き続き、今年も総会を行うことは叶いませんでした。

しかし、中国国内はゼロコロナ政策邁進中、上海は低危険地域で、中高危険地域に行かなければ、上海市内では大きな支障もなく生活できています。せっかくなので今回は食事会だけではなく何かイベントを！と奥原支部長が発言、自ら念入りに下見を重ね、旧フランス租界の衡山路に１５年以上の歴史を持つボーリング場でボーリング大会を開催しました。そういえば大学時代も嵐山のボーリング場によく行ったな、なんてお話もでてきました。





その後は食事会。ボーリング場の階下にあるアラビア料理店「千夜一夜」。
夏の始めに上海に来られたばかりの杉本能美さん（ブラポル語８３年入学）が初参加、北京所属になっていた前支部橋渡直樹さん（中国語０９年入学）も最近また上海勤務になり久しぶりの参加でした。そして今回を区切りとしてご挨拶されたのは、誰よりも長くずっと上海支部を支えてくださると皆さんが信じていた上海支部の重鎮、長年例会の写真係をかって出て下さってました後藤博幸さん（中国語７８年入学）が今後は日本にも住まいを置かれることになり、しばしのお別れのご挨拶をされました。

この２年で世界中が大きく変化し、当たり前のことが当たり前ではなくなりました。とにかく皆元気で一緒の時を過ごせることに感謝し、また以前のように日本からの理事長総長をはじめ沢山の先生方交友会の方々にお越しいただき盛大な総会が催せることを祈っています。



